

PICC 2021 年度活動報告書

(2021 年 1 月 1 日から 2021 年 12 月 31 日まで)



一般社団法人

公益資本主義推進協議会

Public Interest Capitalism Council

目次

1. 会長（代表理事）ご挨拶	P.02
2. 公益資本主義について	P.04
・ 公益資本主義の「三本の矢」	
3. PICC について	P.05
・ PICC のビジョン	
・ PICC 団体概要	
4. 事業の概況について	P.07
・ 設立から体制づくり	
・ 2021 年のテーマと活動	
・ 2021 年度の業績概況	
5. 2021 年度 決算報告	P.09
・ 2021 年度 貸借対照表	
・ 2021 年度 正味財産増減計算書	
・ 財務諸表に関する注記	
6. PICCの委員会活動 会員による「公益資本主義」の実践	P.12
・ 数字で見るPICCの実践活動	
・ 100 年企業研究委員会	
・ 地域活性化委員会	
・ 教育支援委員会	
・ 途上国支援委員会	
・ 会員交流委員会	
7. その他の取り組みについてのご紹介	P.21
・ 第 6 回 PICC 優秀事例発表	
・ PICC 会長塾 2020 フォローアップ	
・ 新「在り方」勉強会	
・ メディアへのコラム提供	
・ マイコミュニティフォーラム	
・ U25会員について	
8. 2022 年のテーマ	P.29
・ 2022 年 PICC テーマ	

1. 会長(代表理事)ご挨拶

日本経済は、直近では新型コロナウイルス感染拡大、また地域によっては地震や台風などの自然災害による影響を受けているものの、リーマンショック以降は大勢としては安定した経済成長が続いてきました。しかし、「実感が乏しい」好景気と言われる通り、日本人・日本企業からかつてのような元気も自信も感じられない状態が続いています。なぜでしょうか？

その最大の要因は、経済を支える企業が「米国型資本主義」に強く影響を受けて経営されているからであると、私は考えています。日本中の会社が違和感を覚えながらも「何よりも優先すべきは目標数字を達成することだ」「より短期間でより多くの利益を株主に還元することが企業価値である」という偏った価値観を持ち、「自分さえ良ければ」「今さえ良ければ」という考え方で経営判断を下しているのです。その結果として、黒字リストラ、粉飾決算、商品データの改ざん、談合、ブラック企業等、さまざまなかたちで社会を騒がせる存在となっています。企業は本来の存在意義を忘れてしまったのです。

また、アメリカを猛追する中国では「国家資本主義」が力を付けてきました。しかし、これもやはり「儲けるためならなりふり構わず」というスタンスが強まっており、これから大きな経済成長が期待される近隣諸国への影響を考慮すると、非常に強い危機感を抱いています。

では、企業の本来の存在意義とはどのようなもののでしょうか。企業とは本来、社会の困りごとを解決するために存在しています。お客様から選んでいただけるよう、企業はより良い商品・サービスを提供するために努力し、その結果として収益を得ることができるのです。その中から社員へは給与というかたちで、株主へは配当というかたちで利益の一部を分配します。あわせて、企業の事業活動は取引先や仕入れ先の収益にも寄与するものであり、また社員の雇用や納税を通じて地域社会や国の維持・発展にも貢献しているのです。

このように、企業は経済を支える「社会の公器」と言える存在です。すなわち、企業は「社員」のものであり、「顧客」のものであり、そして「株主」のものであり、「取引先」のものであり、「地域」のものであります。日本では古来、こうした考えを根底に持ち商売が行われていました。

「三方よし」「和を以って貴しとなす」「吾唯足知」、古くから日本に根付くこのような企業の在り方にもう一度、しっかりと目を向けていくことが、今の時代だからこそ必要であると確信しています。

これから世界経済の中心となるべきは、米国型の株主資本主義でも中国型の国家資本主義でもありません。社会全体の利益を考える資本主義、日本型の「公益資本主義」です。

私はこうした考えを日本中に、そして世界中に拡げ、変えていくため「公益資本主義推進協議会（以下「PICC」と呼ぶ）」という組織を作りました。

PICC では、「限界が見えてきた現資本主義に成り変わる、新しい日本発の資本主義＝公益資本主義を世界に発信し、地球益に貢献する」をビジョンに掲げ、諸外国から真に尊敬される日本づくりの実現に向けて様々な活動に取り組んでいます。一つの活動は大きな影響力はありません。しかし、このPICC を、公益資本主義について学ぶ場、実践する場、そして発信する場として全国に広めていくことによって、必ずどこかで世の中を変えるためのきっかけを作ることができると思っています。

この趣旨に賛同していただける皆様、ぜひ本協議会にご参加いただき、一緒に新しい資本主義の在り方を考えていきましょう。そしてこの「公益資本主義」を、広く世界に発信していきましょう。ご協力よろしくお願いいたします。

以上



一般社団法人

公益資本主義推進協議会

Public Interest Capitalism Council

会長（代表理事）

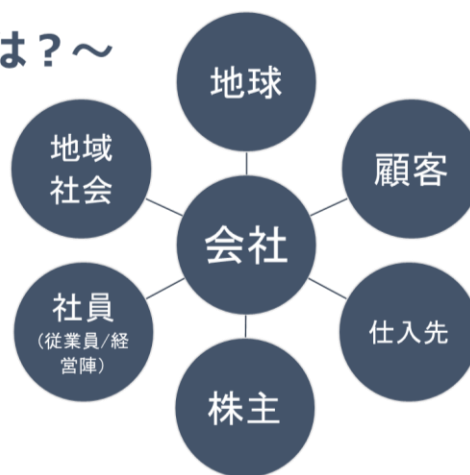
大久保秀夫

2. 公益資本主義について

PICC の最高顧問である原丈人氏は著書『「公益」資本主義 英米型資本主義の終焉』（文春新書）の中で、公益資本主義について「企業の事業を通じて、その企業に関係する経営者、従業員、仕入先、顧客、株主、地域社会、環境、そして地球全体に貢献する」ような企業や資本主義の在り方と定義しています。

会社は誰のものか？
企業は社会の公器である。

社中（Company）とは？～



「公益」と言うと利益を追求するのが悪いことのように思われるかもしれませんが、そうではありません。その逆です。企業を支えるすべての関係者に貢献するためには、大いに稼ぎ、持続的に発展していく必要があります。

公益資本主義の「三本の矢」

持続的経済成長を促すため、公益資本主義の「三本の矢」として、次の3つを重視します。

- ① **中長期投資** — 持続的成長を支えるために、中長期的な投資を行う。経営陣は、短期の利益を求めつつも、中長期的な課題にバランスよく取り組む。
- ② **社中分配** — 会社があげた利益を、株主だけではなく、会社を支える社中各員に公平に分配する。こうすることで社会の格差を是正し、貧困層を減らし、層の厚い中間層をつくる。
- ③ **企業家精神による改良改善** — 本業で利益を上げながらも、リスクを取って新しい事業に挑戦し、常に改良改善に努める。

3. PICCについて

一般社団法人公益資本主義推進協議会＝PICC（Public Interest Capitalism Council）とは、公益資本主義を全国に広め、世の中を変えるためのきっかけをつくる活動を推進する協議会です。

公益資本主義の考えに沿った正しい企業の在り方＝「王道経営」を学び、それを実際の事業活動の中で実践することで社業を伸ばし、その有用性について実証していくこと。そして、公益資本主義に賛同する企業経営者を数多く育成・輩出していくことをミッションとしています。

PICCのビジョン

限界が見えてきた現資本主義に成り変わる、
新しい日本発の資本主義＝公益資本主義を
世界に発信し、地球益に貢献する。

そのため、PICC 会員企業がいま為すべきことは、

魂の決断で**社会性**をベースとした会社・事業を創出し、

独自性のあるビジネスモデルに昇華させる。

同時に、**経済性**も成り立つよう**改良改善**に挑戦する。

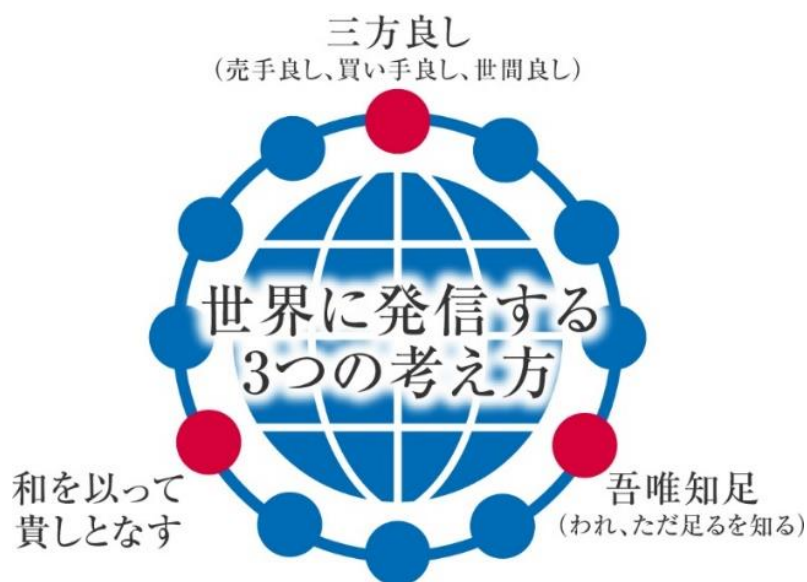
その結果生まれた利益は、社員とその家族、取引先、顧客、地域社会、

株主、つまり社中全体に**公平に分配**していくことで共存共栄を

果たし、**永年続く**企業となることを目指す。

PICC 団体概要

名称：	一般社団法人公益資本主義推進協議会
設立：	平成 26 年 1 月 27 日
所在地：	東京都渋谷区神宮前五丁目 52 番 2 号
目的等：	諸外国から真に尊敬される日本づくりの実現に向けての活動
会員数：	287 名（2021 年 12 月末、正会員 205 社、U25 会員 82 名）
支部等：	宮城支部／東京支部／愛知支部／大阪支部／福岡支部／福島支部設立準備委員会／栃木支部設立準備委員会／広島支部設立準備委員会
役員：	最高顧問 原 丈人
	相談役 川原 正孝
	相談役 林 英臣
	会長（代表理事） 大久保 秀夫
	副会長（理事） 田中 勇一
	理事 阿比留 正弘
	理事 前川 洋一郎
	理事 舘 逸志
	理事 北見 俊則
	監事 佐藤 栄作



4. 事業の概況について

設立から体制づくり

PICC は、公益資本主義を実践し、浸透させることで諸外国から真に尊敬される日本づくりを目指して活動しています。2014 年の設立当初は、会長である大久保秀夫を中心に日本全国を回り、次世代を担う若手経営者に向けて、現在の資本主義の問題点、企業の本来の在り方、人としての在り方、PICC の目指すこと等について啓発活動を中心に取り組んでまいりました。この結果、全国で PICC のビジョンに賛同する企業に入会していただき、組織の基盤をつくることができました。

2016 年には、会員数が一定数を越えた地域に支部を設立し、各地域で具体的活動を展開できる組織作りを行いました。現在は、宮城・東京・愛知・大阪・福岡に支部が設置されています。また、福島・栃木・広島には支部設立準備委員会が立ち上げられ、次の支部化に向けて組織づくりや新規会員獲得に取り組んでいます。

- ✓ 宮城支部
- ✓ 東京支部
- ✓ 愛知支部
- ✓ 大阪支部
- ✓ 福岡支部
- ✓ 福島支部設立準備委員会
- ✓ 栃木支部設立準備委員会
- ✓ 広島支部設立準備委員会



各支部には「100 年企業研究委員会」「教育支援委員会」「途上国支援委員会」「地域活性化委員会」「会員交流委員会」の 5 つの委員会が立ち上げられ、公益資本主義を学び、それを実践するための具体的活動に取り組んでいます。しかし、支部ごとに人員数や活動テーマが異なるため、その進捗にはばらつきがある状況です。

2021 年のテーマと活動

2021 年度も前年に続いて『王道経営』を会員各社が実践する。実体験した成長や気づきを共有し、一人でも多くの人に伝えることで、PICC の仲間や賛同者を増やし、地域に幸せの輪を広げる』をテーマに掲げ、①「公益資本主義」実践に向けた学び、②「公益資本主義」実践目標を明確にし、確実に実行する、③成功事例を集め、効果的な伝え方を練り上げる、に取り組んでまいりました。

しかし、前年から広がる新型コロナウイルスの影響は依然として大きく、PICC 全体においても、支部においても、計画通りに活動できない状況となりました。そのため、当年度もオンライン対応を中心に、各支部でできる活動を模索しながら、新しいかたちでの実践に取り組んでまいりました。また、前年同様、緊急事態宣言にあわせて会費の減免も行っており、全体的に当初予算と実績が大きく乖離しています。

こうした活動の結果、正会員については 16 社が新規入会しました。ただし、社業多忙等による退会が 12 社、会費未納による失効・休会が 3 社あるため、有効な正会員数は年初の 204 社から 205 社（失効や休会を含めると 238 社）とほぼ変わりません。今後は提供できる会員サービスの充実を図ると同時に、入会前・入会後のフォローアップ、オンラインを活用した PR 等を強化し、会員数を増やしていけるよう取り組んでまいります。

一方、18 歳以上・25 歳未満の若者向けの会員制度「U25」は「マイコミュニティフォーラム」や各支部のイベントで知り合った大学生や新社会人を中心に 17 名増えました。しかし、25 歳を迎えた U25 会員は卒業となるため、トータルでは 82 名となっています。

2021 年度の業績概況

このような活動を行った結果、今年度の業績は次の通りとなりました。

経常収益は前期に比べ 368 万円減少し 1,469 万円。主な収益は、支部所属会員を対象としている月会費（1 万円／月）とその他の地域の会員を対象としている年会費（3 万円／年）です。新型コロナウイルス感染拡大により従来通りの会員活動を行うことが難しい状況を踏まえ、合計で 6 カ月間の会費減免を実施した結果、昨年に続いて大幅な減収となりました。

収益が減った一方、費用の支出も大幅に減少しているため 279 万円の利益となりました（前期は 681 万円の利益）。会費の一部は、各支部会員が自主的かつ組織的に、本会主旨の活動を展開していくための支部活動費として活用されています。また本部においても、会員や支部会計を管理するためのシステム整備・運用、会議やイベント開催等の財源としています。2021 年度も様々な予算を計上していたものの、多くの会議やイベントが中止もしくはリモート開催となったため旅費交通費、諸謝金、広報費、会場費を中心に、支部・本部共に経費支出が大幅に削減されました。

5. 2021年度 決算報告

貸借対照表（税込）

2021年12月31日現在

単位：円

科目	合計
諸口	0
小口(宮城支部)	43,276
小口(大阪支部)	5,155
小口(福岡支部)	222,723
小口(福島)	1,890
マレ小口(愛知)	155,566
普通預金(本部)	12,646,325
ネット預金(本部)	49,004
普通(東京支部)	63,142
普通(愛知支部)	970,004
普通(宮城支部)	1,535,436
普通(大阪支部)	1,107,595
普通(福岡支部)	2,087,967
マレ普通(愛知)	1,208,360
普通(福島)	313,696
現金預金合計	20,410,139
事業間勘定	0
本部	3,000,000
東京支部	-3,000,000
未収会費	38,482
未収金	72,000
前払金	27,500
貯蔵品	18,000
短期貸付金	0
前払費用	190,145
仮払金	0
現金過不足	0
流動資産合計	20,756,266
基本財産合計	0
特定資産合計	0
その他固定資産合計	0
固定資産合計	0
資産合計	20,756,266
未払金	967,766
預り金	26,546
仮受け会費等	0
流動負債合計	994,312
固定負債合計	0
負債合計	994,312
指定正味財産合計	0
一般正味財産	19,761,954
正味財産合計	19,761,954
負債及び正味財産合計	20,756,266

事業別正味財産増減計算書（税込）

2021年1月1日から2021年12月31日まで

単位：円

科目	本部	支部	合計
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
正会員入会金	140,000	0	140,000
U25入会金	48,000	0	48,000
正会員年会費	890,000	0	890,000
正会員月会費	7,862,000	0	7,862,000
内振支部活動	-3,684,930	3,684,930	0
講演会等収益	30,000	338,138	368,138
受取地方補助金	0	1,082,000	1,082,000
受取利息	74	72	146
雑収益	3,270	4,291,835	4,295,105
経常収益計	5,288,414	9,396,975	14,685,389
(2) 経常費用			
事業費	1,509,017	8,270,806	9,779,823
諸謝金	30,000	784,240	814,240
旅費交通費	154,160	638,710	792,870
消耗品費	163,915	156,980	320,895
通信運搬費	254,355	38,051	292,406
システム管理費	645,810	213,950	859,760
渉外費	21,600	0	21,600
会議費	0	935,486	935,486
広報費	0	1,319,443	1,319,443
会場費	0	2,403,890	2,403,890
支払手数料	235,167	26,544	261,711
支払保険料	0	45,530	45,530
業務委託費	0	469,280	469,280
支払寄附金	0	65,170	65,170
租税公課	2,000	600	2,600
雑費	2,010	1,172,932	1,174,942
管理費	2,115,383	0	2,115,383
旅費交通費	42,796	0	42,796
消耗品費	51,928	0	51,928
通信運搬費	830	0	830
システム管理費	813,120	0	813,120
渉外費	95,980	0	95,980
会議費	13,724	0	13,724
広報費	693,331	0	693,331
支払手数料	7,224	0	7,224
租税公課	450	0	450
顧問料	396,000	0	396,000
経常費用計	3,624,400	8,270,806	11,895,206
評価損益等調整前当期経常増減額	1,664,014	1,126,169	2,790,183
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	1,664,014	1,126,169	2,790,183
2. 経常外増減の部	0	0	0
(1) 経常外収益	0	0	0
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用	0	0	0
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	1,664,014	1,126,169	2,790,183
法人住民事業税	70,000	0	70,000
当期一般正味財産増減額	1,594,014	1,126,169	2,720,183
一般正味財産期首残高	8,230,959	8,810,812	17,041,771
一般正味財産期末残高	9,824,973	9,936,981	19,761,954
II 指定正味財産増減の部	0	0	0
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	9,824,973	9,936,981	19,761,954

財務諸表に関する注記

1. 重要な会計方針
公益法人会計を適用しております。
 - (1) 棚卸資産の評価基準および評価方法
棚卸資産はございません。
 - (2) 固定資産の減価償却の方法
固定資産はございません。
 - (3) 引当金の計上基準
引当金はございません。
 - (4) 消費税等の会計処理
税込方式によっております。
2. 特定資産の増減額およびその残額、財源等の内訳
特定資産はございません。
3. 固定資産の取得価額、減価償却累計額および当期末残高
固定資産はございません。
4. 実施事業等会計にかかわる資産
実施事業等会計にかかわる資産はございません。
5. 重要な後発事象
ございません。

付属明細書

1. 特定資産の明細
財務諸表の注記に関する記載の通りです。
2. 引当金の明細
財務諸表の注記に関する記載の通りです。

6. PICCの委員会活動 会員による「公益資本主義」の実践

PICC 各支部では、「100 年企業研究委員会」「教育支援委員会」「途上国支援委員会」「地域活性化委員会」「会員交流委員会」の 5 つの委員会が立ち上げられ、さまざまな活動に取り組んでいます。

数字で見るPICCの実践活動

PICC では全国の支部・会員企業が、さまざまな活動に取り組んでいます。一つひとつの活動は小さいかもしれませんが、積み重ねることによって何か世の中を変えるための一助につながっていくと信じております。2021 年度、全国支部や PICC 全体で取り組んだ活動を集計し、数字でご紹介いたします。

100 年企業研究

- ・ 企業訪問 3 社
- ・ 勉強会 1 回



出前授業

- ・ 44 校 4,908 名
- ・ 勉強会等 4 回



MYCO フォーラム

- ・ 1 都市 1 回
- ・ 参加人数 255 名



途上国支援

- ・ ミーティング等 4 回



地域活性

- ・ 視察 2 回
- ・ イベント 4 回



支部活動

- ・ 定例会 8 都市 127 回
- ・ 勉強会 8 都市 145 回
- ・ 若者支援 4 都市 99 回

会議・講演

- ・ 支部長会議 10 回
- ・ 公開講演 5 回



メディア掲載

- ・ 27 媒体 75 回



100 年企業研究委員会

世界で最も多くの 100 年企業が存在する日本。これらの企業から経営の本質を学び、自らの経営に取り込むとともに、日本の経営の在り方を広く推奨していく委員会です。100 年企業の視察や、経営者をお招きした勉強会などを行っています。

- 書物や講義を活用した研究
- 実際の 100 年企業への訪問
- 会員企業の 100 年ビジョンづくり



主な活動実績

実施日	地域	概要
2021/6/3	東京	100 年企業訪問 カクイチ
2021/8/3	愛知	老舗勉強会 『大阪・船場の老舗にみる「家」の相続と「会社」の承継』 (前川洋一郎 理事)
2021/12/6	愛知	100 年企業訪問 今寿司
2021/12/9	東京	100 年企業訪問 弓削田醤油

地域活性化委員会

日本創生の原点となる地域振興。さまざまな分野から地域の活性化を研究・実践する委員会です。NPO 法人『元気な日本をつくる会』が展開する官民連携事業等、地域活性に取り組む他団体との連携も含め、公益資本主義の考えを活かした地域活性化を推進しています。

- 地域課題や他地域における活性化事例の研究
- 地域活性に取り組む団体との連携
- 地域活性学会との連携
- 地域の学生／企業／自治体／学校等との連携
- 地域活性化のための企画／実行



主な活動実績

実施日	地域	概要
2021/3/23	大阪	SDGs アウトサイドインカードゲーム
2021/6/23	大阪	2030 SDGs カードゲームイベント
2021/7/15	本部	勉強会「PICC と離島振興」(館逸志 理事)
2021/8/27	大阪	福島県地域視察(介護施設) & オンラインイベント
2021/9/28	大阪	SDGs de 地方創生カードゲーム体験会
2021/10/10	福島	ぼくらの音楽祭
2021/10/13	東京	NPO 法人夢のかたちファーム 就労支援事業所視察

※ 上記の他、支部によってマイコミュニティフォーラムや地域イベントの企画・運営について取り組んでいます。

教育支援委員会

子供は未来の財産です。学力の低下に加え、夢や希望が持てない日本の子ども達に経営者からの視点で教育を推進する委員会です。教育と子育ては地域ぐるみで行うことと考え、「出前授業」などの活動を積極的に展開しています。「働くとはどういうことか?」「社会における企業の役割」「志や目標を持つことの大切さ」等をテーマに、企業経営者が自身の経験や想いを直接伝えることで、これから社会に出てゆく子供たちに働くことの意味や将来の夢を考えるきっかけを作ることが狙いです。2021 年は延べ 44 校、4,908 名の学生に向け、出前授業を行っています。



- 出前授業の実施
- 職場体験の受け入れ
- マイコミュニティフォーラムで知り合った学生への教育
- 新たな教育支援手法(オンライン出前授業、招来型授業、夢ケーキ、ぼくらの学校 等)の研究

主な活動実績

実施日	地域	概要
2021/1/13	福岡	出前授業 福岡市立席田中学校 1 年生
2021/1/18	大阪	出前授業(年間授業 6 回目) 泉大津市立小津中学校 2 年生 「夢の見える化 ビジョンボード作成」
2021/1/29	愛知	出前授業 瀬戸市立南山中学校 1、2 年生 「社会での学び、働くこと」について考える職業講話

2021/2/5	福島	財務勉強会
2021/2/16	大阪	出前授業（年間授業 7 回目） 泉大津市立小津中学校 2 年生 「ビジョンボード発表と文集作成へ」
2021/2/19	福島	財務勉強会
2021/2/24	本部	全国教育支援委員会
2021/3/5	愛知	出前授業 名古屋経済大学高蔵高校 1・2 年生
2021/3/16	大阪	出前授業（年間授業 8 回目） 泉大津市立小津中学校 2 年生 「10 年後の自分」作文発表
2021/3/17	大阪	出前授業（年間授業 9 回目） 泉大津市立小津中学校 1・2 年生 「10 年後の自分」作文発表
2021/4/10	福岡	福岡大学ベンチャー起業論・ブレイクスルー 『リーダー研修』
2021/4/17	東京	出前授業 東京英和女学院大学大学院 国際協力研究科（修士課程）
2021/5/11	本部	全国教育支援委員会
2021/5/15	愛知	オンラインユースセンター「SHIP」出前授業
2021/5/31	大阪	出前授業（年間授業 1 回目） 泉大津市立小津中学校 2 年生 「思い込みの枠をはずそう」
2021/6/4	東京	出前授業 岩倉高等学校 2 年生
2021/6/14	大阪	出前授業（年間授業 2 回目） 泉大津市立小津中学校 2 年生 「社会の仕組みを知ろう。仕事とは、働くとは」
2021/6/24	愛知	出前授業 瀬戸市立水野中学校 1 年生、2 年生
2021/7/5	大阪	出前授業（年間授業 3 回目） 泉大津市立小津中学校 2 年生 「自分の価値観とまわりの価値観を知ろう、価値観ゲーム」
2021/7/26	愛知	出前授業 愛知総合工科高校 1 年生、2 年生
2021/7/28	愛知	出前授業導入講座
2021/7/30	東京	出前授業 岩倉高等学校 2 年生 起業プログラム
2021/8/4	東京	出前授業 岩倉高等学校 「海外支援・国際交流」などに興味がある生徒
2021/8/5	東京	出前授業 岩倉高等学校 2 年生 起業プログラム
2021/8/16	東京	出前授業 岩倉高等学校 2 年生 起業プログラム向けの試写会
2021/8/17	東京	出前授業 岩倉高等学校 2 年生 起業プログラム
2021/9/1	愛知	教育支援委員会
2021/9/6	福岡	教育支援委員会「リーダーシップ研修」（福岡支部 飯田剛也 支部長）
2021/9/6	愛知	出前授業 愛知県立知立高校 2 年生
2021/9/8	東京	出前授業 東久留米市久留米中学校 2 年生
2021/9/13	大阪	出前授業（年間授業 4 回目） 泉大津市立小津中学校 2 年生 「夢と志の違い、価値を見出すとは」
2021/9/17	東京	出前授業 自由が丘学園高等学園 「働くとは」「仕事を通じてどう社会課題を解決するか」
2021/9/23	東京	出前授業 岩倉高等学校 2 年生 起業プログラム
2021/9/24	東京	出前授業 自由が丘学園高等学園

		「社会課題を解決する起業家の話」「社会課題とはなにか SDGs から考える」
2021/9/27	東京	出前授業 岩倉高等学校 2 年生 起業プログラム
2021/9/28	東京	出前授業 自由が丘学園高等学園 「働くとは」「仕事を通じてどう社会課題を解決するか」
2021/9/30	愛知	教育支援委員会 出前授業導入講座
2021/10/11	東京	出前授業 自由が丘学園高等学園 「働くとは」「仕事を通じてどう社会課題を解決するか」
2021/10/12	東京	出前授業 自由が丘学園高等学園 「社会課題を解決する起業家の話」「社会課題とはなにか SDGs から考える」
2021/10/16	東京	出前授業 岩倉高等学校 企画発表に向けてのワーク
2021/10/18	東京	教育支援委員会 ワークショップ共有会
2021/10/21	東京	出前授業 自由が丘学園高等学園 「働くとは」「仕事を通じてどう社会課題を解決するか」
2021/10/22	東京	出前授業 神奈川工科大学「社会人として大切な 3 要素/仕事とは」
2021/10/25	大阪	出前授業（年間授業 5 回目） 泉大津市立小津中学校 2 年生 「仕事に取組む姿勢」
2021/10/28	栃木	出前授業 足利市立協和中学校 2 年生
2021/10/28	東京	出前授業 岩倉高等学校 企画発表
2021/11/1	東京	出前授業 自由が丘学園高等学園「社会課題を解決する起業家の話」
2021/11/6	東京	出前授業 岩倉高等学校 企画発表
2021/11/11	東京	出前授業 自由が丘学園高等学園「社会課題を解決する起業家の話」
2021/11/19	東京	出前授業 自由が丘学園高等学園 課題発表「SDGs を事業（仕事）を通じて解決するには」
2021/11/19	東京	出前授業 幸田町立北部中学校
2021/11/24	東京	出前授業 武蔵村山市立第四中学校
2021/11/29	大阪	出前授業（年間授業 6 回目） 泉大津市立小津中学校 2 年生 「動画を用いた職業体験」
2021/12/6	東京	出前授業 自由が丘学園高等学園 課題発表「SDGs を事業（仕事）を通じて解決するには」
2021/12/14	東京	出前授業 立正大学付属立正高校 1 年生「多様性と均一性の違い」
2021/12/16	大阪	出前授業（年間授業 7 回目） 泉大津市立小津中学校 2 年生 「ビジョンをもつことの大切さ、ビジョンボードのつくり方」
2021/12/22	福岡	出前授業 福岡大学 「人間関係論/公益資本主義とは」（タウンズポスト 飯田剛也 社長）

途上国支援委員会

国の基本は教育です。経済や文化の領域で将来のパートナーとなる途上国に対して、教育や自立支援をサポートしています。教師団の派遣や幼小中高一貫校設立などに取り組む CIESF と連携し、途上国支援の在り方を学び、実践します。

- ・途上国支援
- ・途上国進出の検討／実施
- ・留学生受け入れ
- ・他の途上国支援団体の研究／協力
- ・CRM 手法の研究／実践



主な活動実績

2021/5/2	愛知	途上国支援委員会 maily（池宮聖実 代表）訪問
2021/5/26	福島	「ルワンダの教育を考える会」特別講演会打ち合わせ
2021/6/28	東京	カンボジア支援団体との交流ミーティング（plenty、NPO 法人 HERO）
2021/7/19	東京	カンボジア支援団体 plenty との交流ミーティング

会員交流委員会

会員活動の基盤となる公益資本主義。その考え方を学び、経営者本来のあり方を身につける「在り方」勉強会の普及を図る委員会です。また、各支部定例会を通じて会員相互の交流（親睦・ビジネス）を促すとともに、全国各地の支部との交流会も開催しています。

- ・公益資本主義の学び
- ・「在り方」「やり方」勉強会
- ・魅力ある定例会の企画／運営
- ・新規会員の勧誘／教育
- ・会員企業の魅力発掘／発信
- ・会員交流



主な活動実績

実施日	地域	概要
2021/1/12	大阪	CRM 勉強会
2021/1/19	東京	「農業による障がい者雇用」「今使える助成金・補助金」
2021/1/19	愛知	「中小企業に於ける財務の在り方と事業承継」 （株式会社ストライク 堀口拓矢アドバイザー）
2021/1/22	福島	ぼくらの学校

2021/1/26	広島	「中小企業の産業医契約について」(海風診療所 沼田医院長)
2021/2/9	大阪	CRM 勉強会
2021/2/16	東京	「日本の教育、海を渡る」(株式会社セルフウイング 平井由紀子 代表)
2021/2/16	愛知	勉強会(日本福祉協議機構 濱野剣 代表理事)
2021/2/19	大阪	「大きなビジョン・戦略を持っている」(クジラ株式会社 矢野浩一 代表)
2021/3/16	愛知	「成長を加速するための財務戦略とその実例 5 連発」 (株式会社ストライク 堀口拓矢 氏)
2021/3/25	大阪	「会社に No.2 がいる」(リタワークス株式会社 佐藤正隆 社長)
2021/4/3	福岡	会員交流お花見会
2021/4/7	東京	三冠達成懇親会
2021/4/20	愛知	「ランチェスター経営戦略 勉強会④」 (ランチェスターマネジメント 河辺よしろう 代表)
2021/4/23	福島	ぼくらの学校
2021/4/23	大阪	新入社員向け在り方勉強会
2021/4/27	東京	新入会員オリエンテーション
2021/5/17	大阪	企業コンセプト勉強会
2021/5/18	東京	「PICC の共育活動～子ども、会社、地域の三方良しになる教育支援～」 (株式会社 Campanula 権堂千栄美 社長)
2021/5/18	愛知	「証券マンとして 30 年、その中で培った投資の考え方」 (FLSJapan 合同会社 増田貴哉 代表)
2021/5/24	東京	新入社員歓迎会
2021/5/24	大阪	「時間の使い方を決めている」(株式会社エミシス 藤木寛人 社長)
2021/5/25	福島	ぼくらの学校
2021/5/29	広島	広島・福岡合同定例会「これからの予防医療と健康経営の在り方」 (海風診療所 沼田医院長)
2021/6/7	東京	「売上を上げる出版勉強会」(出版プロデューサー 吉田浩 氏)
2021/6/15	愛知	「経営計画作りに最強なランチェスター財務戦略」 (ランチェスターマネジメント 河辺よしろう 代表)
2021/6/21	大阪	企業コンセプト勉強会
2021/6/22	福島	ぼくらの学校
2021/6/22	東京	「震災復興からの地域活性化」 (株式会社ラボールヘア・グループ 早瀬渉 代表)
2021/6/22	大阪	「しがらみを断つ決断をしている」(株式会社 Kurokawa 黒川芳秋 社長)
2021/6/28	福岡	「銀行との付き合い方」(福岡支部 飯田剛也 支部長)
2021/7/16	東京	「未来を育むリーダーシップ ～コロナ後を見据えて、動き出すために、今、必要なこと～」(NPO 法人テラ・ルネッサンス 鬼丸昌也 創設者)
2021/7/17	福岡	第 2 回「公益資本主義公開フォーラム」
2021/7/19	大阪	企業コンセプト勉強会
2021/7/20	東京	「SDGs 概要と自社の取り組み事例」(

		株式会社 GLOBAL FLAT 佐藤岳登 代表)
2021/7/21	大阪	「些細なことには目をつぶる」(有限会社トリオ商事 加藤克弘 社長)
2021/7/23	広島	健康経営委員会
2021/7/26	福岡	「PICC で学んだ成果と実践事例」(大塚実業株式会社 大塚雅之 支部長)
2021/7/27	福島	ぼくらの学校
2021/8/17	東京	「明日食べていく食べ物がない若者たち 10 代の孤立を解決するために 何ができるか」(認定 NPO 法人 DXP 今井紀明 理事長)
2021/8/17	大阪	企業コンセプト勉強会
2021/8/18	愛知	「儲かる会社と儲からない会社の違い」 (ランチェスターマネジメント 河辺よしろう 代表)
2021/8/18	広島	健康経営委員会
2021/8/23	福岡	「ベンチャー起業論の学生と一緒に、PJ 活動について考える」
2021/8/24	福島	ぼくらの学校
2021/8/24	大阪	「社外に相談相手を持っている」(株式会社 GLOBAL FLAT 佐藤岳登 社長)
2021/8/28	東京	チャリティゴルフイベント
2021/9/21	東京	「いい企業とは何か? 公益資本主義に取り組む企業をサポートする coki が 目指す未来」(株式会社 Sacco 加藤俊 代表)
2021/9/24	広島	健康経営委員会
2021/9/24	大阪	入社員・若手向け「在り方勉強会 入門編」
2021/9/27	福岡	「健康と経営について」(Link Function Project 坪井望 代表)
2021/9/28	福島	ぼくらの学校
2021/10/7	大阪	企業コンセプト勉強会
2021/10/10	福島	ぼくらの音楽祭
2021/10/13	広島	健康経営委員会
2021/10/19	東京	「スモール M&A、事業投資の実態」(つながりバンク 齋藤由紀夫 社長)
2021/10/22	大阪	「謙虚な心を持っている」(錦町農産加工株式会社 廣兼一昭 社長)
2021/10/23	福岡	広島・福岡合同定例会「知的財産を人間関係に活かす」(弁理士 峰雅紀 先生)
2021/10/25	愛知	「カンボジアでのカカオ事業、Choco-Rico 秘話と今後の展望」 (有限会社シーズプランニング 渡邊千晃 代表)
2021/10/26	福島	ぼくらの学校
2021/11/1	大阪	企業コンセプト勉強会
2021/11/16	東京	「2050 年の世界と水技術 ～インドの視点から～」 (横浜国立大学大学院工学研究院 中村一穂 氏)
2021/11/17	広島	健康経営委員会
2021/11/18	大阪	「他人の幸せ＝自分の幸せと考えている」 (株式会社せいふうケア 太田大 代表)
2021/11/22	福島	ぼくらの学校
2021/11/24	栃木	経営理念勉強会
2021/11/25	愛知	「PICC との出会いと公益資本主義の実践」(大塚実業株式会社 大塚雅之 社長)

2021/12/3 広島 健康経営委員会

2021/12/14 福島 ほくらの学校

2021/12/22 栃木 経営理念勉強会

※ 上記の他、本部では支部長会議を、各支部では定例会や「在り方」「やり方」勉強会・懇親会を定期的に開催しています。

7. その他の取り組みについてのご紹介

第6回 PICC優秀事例発表会

2022年3月15日、一般社団法人公益資本主義推進協議会は社員総会・優秀事例発表会を開催しました。今年は緊急事態宣言下であるため、役員や登壇者のみリアル、観覧はオンラインのハイブリッド開催でしたが合計150名の方に参加いただきました。冒頭の社員総会では、議案として上程していた2021年度決算、役員選任は原案どおり承認可決されています。

議事後には、会長である大久保秀夫から『王道経営』実践道場 はじめに」というタイトルで講演があり、今年からスタートする新しい学びの場について、講義テーマや趣旨について案内されました。

講演後は、6回目となるPICC優秀事例発表会を開催し、全国から選抜された6名の会員による活動事例のプレゼンテーションが行われました。

【優秀事例を発表いただいた会員の皆様】

1. 委員会活動部門（100年企業研究）
福岡支部 松田 修さま（社会保険労務士法人マッチアップ）
2. 委員会活動部門（教育支援）
福岡支部 古澤一輝さま、小林昇生さま（U25）
3. 公益資本主義の実践部門
東京支部 加藤 俊さま（株式会社 Sacco）
4. 社中分配部門
愛知支部 野田 重秀さま（株式会社野田クレーン）
5. 委員会活動部門（途上国支援）
東京支部 河合 広介さま（株式会社トライキッツ）
6. PICC プレゼン部門
福岡支部 松藤 大治さま（U25）

その中で最も優れたプレゼンターとして、株式会社トライキッツの河合 広介さん（東京支部 副支部長）に「2021 PICC MVP 賞」が贈呈されました。河合

さんからは、自社でチャレンジされている途上国支援の取り組みについて、ご紹介いただいています。

東京・大田区でものづくりをされているトライキッツがチャレンジされているのは、障がい者支援事業所に商品生産を委託するという本業を通じた社会貢献、Cause Related Marketing です。現在、日本では何らかの障がいを持つ方が



900 万人、その中で働きたくても働くことができない人が 340 万人いると言われています。この中から、一人でも多くの就労者を増やすことができれば、本人にとってはもちろん、企業にとっては人手不足の解消にもつながり、国にとっても税収アップに繋がる、まさに三方良しの取り組みです。

同社の取り組みはここにとどまらず、資源の善循環による SDGs への貢献、売上の 10%を国際 NGO に寄付する途上国支援、また将来的にはこのスキーム自体を途上国に技術指導し、雇用創出にもつなげていくことも視野に入れた壮大な事業計画です。PICC で学んだことを自社の事業でどう実現できるかを考え、実践にチャレンジされている事例となります。

「2021 PICC MVP 賞」を受賞された河合広介さんより

「社会性」「公益性」という言葉は、10 年前の自分にとってはどこか他人事、きれい事であり、恥ずかしながらあまりピンとくるものではありませんでした。それが PICC に入り、御縁をいただいた仲間である皆様と共に学んで、共に活動していくうちに、いつの間にか違和感なく、すっかり居心地の良い言葉になっています。今回発表させていただいた「途上国支援」は PICC で勉強しなければ出てこない発想ですし、実践もできなかったと思います。皆様のご支援、ご協力のおかげだと思っています。本当にありがとうございました。

また、東京支部には「支部基盤強化賞」「2021 年度 最優秀支部賞」が贈られています。河合さんの MVP を含め、東京支部は昨年に引き続いての三冠獲得となります。

「最優秀支部賞」を受賞された東京支部より

大塚支部長： 個人的には、ショーレースはあまり興味がありません。真面目にコツコツやっていれば、評価してくれる方は評価してくれるはずだと思っています。ただ、今年に限ってはこの賞を取りたかったのです。会の冒頭、黙祷を捧げた通り、仲

間が1月に亡くなってしまいました。我々は、「祖先の思いを今につなぎ、未来のために生かしていく」という考えを大切にしているため、それを形として見せなければいけないということを強く思っていました。無念にもこの世を去ってしまった富張さんのため、今回は賞が取れて本当に良かったと思います。

東京支部は今回、優秀事例発表会に9本エントリーしました。この数が少ないか、多いかは個人の感覚によると思いますが、PICCに参加して、活動している以上、1年かけて「何かできることがないのか？」を考え、エントリーしなければダメだと私は思っています。公益資本主義を学んで、実践して、自社を強くすることはもちろん大切だけれども、我々は「推進協議会」を謳う以上、それを会の内外にきちんと伝え、仲間を増やすことも重要なミッションの一つとしているからです。そのためには、この優秀事例発表会の場で発表するのが一番だと考えています。これから次回に向けて、皆で一緒に挑戦していきたいと思います。よろしくお願いいたします。



PICC 会長塾 2020 フォローアップ

2020年5月から12月まで、全7回にわたって実施したPICC会長塾のフォローアップを継続しています。本塾は、新型コロナウイルスの感染拡大が会員企業にもさまざまな影響を与える中、こんな時こそPICCの各支部を引っ張る責任者には強く、正しい経営をしてほしいという想いから、大久保会長と寺田会長補佐が講師となり、経営計画やオペレーション、強みづくり等をテーマに学びました。



今年度は7月20日にフォローの勉強会を開催し、以下4つの課題について、受講会員からそれぞれ発表いただき、意見交換が行われました。引き続き、会長塾では定期的にフォローアップの場を設けていく予定です。

- 課題① ロードマップの進捗報告
- 課題② 大久保会長から個別にもらった検討事項
- 課題③ DX化という視点を追加したロードマップブラッシュアップ
- 課題④ BCPについて多面的に検討

新「在り方」勉強会

PICC 会員の第一の役割は、自ら経営する会社で「王道経営」を実践し、利益を出し、雇用を生み出し、税金を納めてもらうことです。これができるようになって初めて「三方よし」、社員とその家族・顧客・取引先・株主・地域社会に幸せを分配することが可能になるからです。

2018 年度から、まず経営者としての「在り方」について十分理解し、会員自らが語れるようになることを目指して新「在り方」勉強会をスタートさせました。PICC の会員企業が社業を発展させる上でも、新たに公益資本主義を学び・実践し・広げていく仲間を増やす上でも、重要な取り組みとしてとらえています。以前のように会長である大久保が自ら講師となって教えるのではなく、大久保から「在り方」を教わったことのある会員が、各地で講師となり、他の会員の教えるという形式を取っています。将来的には全会員が講師として立てるようになり、PICC の魅力を PR する一翼を担うことを目指します。

新「在り方」勉強会のカリキュラム

- ・(第 1 回) 公益資本主義・大久保秀夫のルーツを知る
- ・(第 2 回) 人生で成功するたった一つの方法『決断』
- ・(第 3 回) これからの企業経営のあり方 CRM 編
- ・(第 4 回) これからの企業経営のあり方 BOP 編
- ・(第 5 回) 成功者に共通する 8 つの法則 Part1
- ・(第 6 回) 成功者に共通する 8 つの法則 Part2
- ・(第 7 回) 大久保秀夫流 18 の法則
- ・(第 8 回) 成功する経営者になる為に必要な 25 の思考と行動

メディアへのコラム提供

会の名前として冠する「公益資本主義」という言葉は、残念ながらまだまだ一般的には認知されていません。PR 活動の一環として理事にご協力いただき、公益資本主義の考え方を取り入れたコラムを執筆してもらい、メディア向け提供しております。

田中勇一 副会長

2021/1/27	日経産業新聞「Smart Times」トリオ商事 加藤克弘
2021/3/8	日経産業新聞「Smart Times」リソウル 扇谷麻子
2021/4/16	日経産業新聞「Smart Times」GLOBAL FLAT 佐藤岳登
2021/5/26	日経産業新聞「Smart Times」ゲーム・フォー・イット 後藤誠
2021/7/2	日経産業新聞「Smart Times」フォーシックス 柳川誉之
2021/8/11	日経産業新聞「Smart Times」FunTre 谷田部敦

2021/9/17	日経産業新聞「Smart Times」わくわくスイッチ 中村憲和
2021/10/27	日経産業新聞「Smart Times」ドローン・ジャパン 勝俣喜一郎
2021/12/3	日経産業新聞「Smart Times」Link Function Project 坪井望

前川洋一郎 理事

2021/1/19	日経産業新聞 「長寿企業の研究」 攀桂堂
2021/3/9	日経産業新聞 「長寿企業の研究」 江戸三・大和屋
2021/4/20	日経産業新聞 「長寿企業の研究」 松廼家
2021/5/1	倫風「老舗の変えない哲学、変える哲学」
2021/6/15	日経産業新聞 「長寿企業の研究」 大甚
2021/7/27	日経産業新聞 「長寿企業の研究」 マルト
2021/9/14	日経産業新聞 「長寿企業の研究」 北垣薬品
2021/10/26	日経産業新聞 「長寿企業の研究」 むか新
2021/12/7	日経産業新聞 「長寿企業の研究」 錦町農産加工

マイコミュニティフォーラム



2016年12月から始めた「マイコミュニティフォーラム」もPICC全国支部の取り組みとして定着しました。代表世話人としてNEWS ZEROのメインキャスターを務めていた村尾 信尚 氏に、またPICC役員からも田中副会長、館理事ご協力いただきながら、日本各地で若者に気付きを与えるためのフォーラムを開催しています。

2021年12月までに全国6都市で23回開催し、3,179名の方に参加いただいております。

マイコミュニティフォーラムの目的は、若者の地域に対する意識のスイッチを“オフ”から“オン”にすること。自分たちの力で「国や未来は変えることができるんだ」ということに気付いてもらうため、まずは自分が住んでいる地域でどんな取り組みが行われている

るか、目を向けてもらい、私の社会のために何かできること、参加してみたいと思えることを見つけてもらうためのヒントを提供したい、そんな思いで企画・運営しております。

各地域の PICC 会員が中心となり、近隣の学校、学生、経営者、NPO、企業、議員等と協力しながら、様々なテーマ・プログラムを提供してまいりました。

はじめに村尾信尚氏から『私の社会をつくるための2つの券』をテーマに、「私たちは社会を変える2つの券、投票券と日本銀行券を持っている」ということを平易に解説。その後は参加する若者のニーズに合わせパネルディスカッションや講演等が行われるのが、基本のフォーマットになっています。近年は、一方的に聞くだけではなく、聴衆も一緒に参加できるワークショップ型の取り組みが採用されたり、学生が自らの活動を発表するプレゼンテーション大会が行われたり、回を重ねるごとに各地域で趣向を凝らしたフォーラムへと進化を遂げてきました。

人が集まるスタイルのイベントのため、新型コロナウイルスの影響は大きいですが、愛知では感染対策を徹底し、またオンラインも活用しながら、コロナ禍の2021年度も継続して開催しております。

【2021 年の開催実績】

① 第23回マイコミュニティフォーラム in 愛知

2021年11月14日(日) 13:00~18:00

場所：オンライン配信／東別院会館

テーマ：東海学生 AWARD 2021 ～ORIGIN ここがあなたの“原点”となる～

参加者：255名(オンライン含む)



U25会員について

U25 会員は、25 歳未満の若者が PICC の活動に参加できるよう、設けられた会員制度です。各地で年 1 回開催するマイコミュニティフォーラムだけではその場限りの気付きで終わってしまうため、PICC の活動に参加してもらいながら継続フォローできるように 2018 年から新設しました。

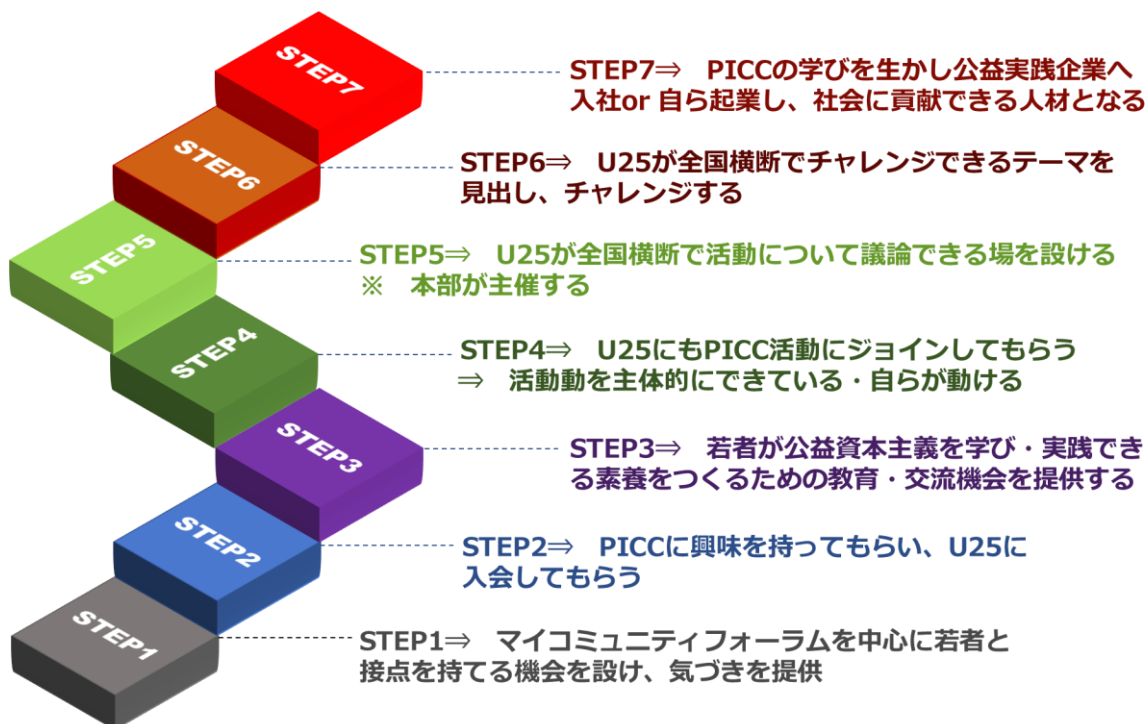
PICC が U25 育成に取り組む理由は、これから地球の未来を担う若者に「公益資本主義」を伝え、継承してもらうためです。

PICC 会員企業は、公益資本主義を学び、それを自社で実践し、社会に広げていくことを使命としています。その対象は、一番はまだ公益資本主義を知らない、実践できていない経営者ですが、本当の意味で公益資本主義を広げるには、企業を選ぶ側、自身が働く企業を選定する学生、商品・サービスを選ぶ顧客にもこの考え方を知ってもらい、公益資本主義的視点で企業を選別してもらう層を厚くしていくことが、将来的にみても重要であると考えています。

若者に PICC 活動に参加してもらうことで、これから社会に出ていく前に知っておくべき、気付いておくべき考え方や視座を提供し、社会で自信をもって活躍できる人材を輩出することを目指しています。また、若者にマイコミュニティフォーラムの企画・運営や集客にも関わってもらうことも期待しています。

PICC がすべき若者育成のステップ

「公益資本主義の学び」「実践のお手伝い」「次世代への啓蒙」



U25・若者向けの活動

2021/1/7	大阪	U25RN 勉強会「チームの定義」「メンバーの定義」
2021/1/20	東京	U25 向けリーダーシップ研究会 鬼丸塾第3回
2021/1/22	大阪	U25RN 勉強会「みんなが自分を好きになれる世界をつくる」
2021/1/31	大阪	U25RN 勉強会「みんなが自分を好きになれる世界をつくる」
2021/2/13	東京	マイコミュニティフォーラム関連企画 人形劇ワークショップ
2021/2/17	東京	U25 向けリーダーシップ研究会 鬼丸塾第4回
2021/2/22	本部	全国マイコ&U25 育成会議
2021/3/7	東京	マイコミュニティフォーラム関連企画 人形劇ワークショップ
2021/3/17	東京	U25 向けリーダーシップ研究会 鬼丸塾最終回
2021/3/24	東京	U25 向けリーダーシップ研究会 鬼丸塾卒業式
2021/4/10	福岡	福岡大学ベンチャー起業論・ブレイクスルー 『リーダー研修』
2021/5/8	福岡	就活支援ワークショップ① 役割分担を学ぶ
2021/6/5	福岡	就活支援ワークショップ② 説明力を鍛える
2021/7/3	福岡	就活支援ワークショップ③ 自分と相手を知る
2021/7/5	大阪	U25RN 出前授業見学
2021/7/7	東京	経営者×大学生 講演交流会
2021/8/4	東京	経営者×大学生 講演交流会
2021/8/7	福岡	就活支援ワークショップ④ ロジカルシンキング
2021/9/4	福岡	就活支援ワークショップ⑤ ロジカルシンキング その2
2021/9/7	東京	経営者×大学生 講演交流会
2021/9/11	大阪	U25RN 勉強会「社会人としてのマインドセット、スキルセット」 (大阪支部 矢野浩一 支部長)
2021/9/16	東京	リーダーシップ研究会説明会
2021/9/16	東京	リーダーシップ研究会説明会
2021/10/2	福岡	就活支援ワークショップ⑥ 自分を知ろう。エコグラム
2021/10/7	東京	U25 向けリーダーシップ研究会 鬼丸塾第1回
2021/10/23	大阪	U25RN ハロウィンイベント参加
2021/10/25	東京	経営者×大学生 講演交流会「SDGs/ESG 投資と中小企業」 (FIS ソリューションズ 山口勝宏 社長)
2021/11/6	福岡	就活支援ワークショップ⑦ モチベーションの正体
2021/11/22	東京	経営者×大学生 講演交流会「あなたの人生だれが決める？ これからの就活とは」(FIS ソリューションズ 今井採用担当)
2021/11/25	東京	U25 向けリーダーシップ研究会 鬼丸塾第2回
2021/11/25	大阪	U25RN 交流会
2021/12/4	福岡	就活支援ワークショップ⑧ モチベーションについて
2021/12/13	東京	経営者×大学生 講演交流会「起業家精神、経営やり方塾」 (FIS ソリューションズ 山口勝宏 社長)
2021/12/16	東京	U25 向けリーダーシップ研究会 鬼丸塾第3回

8. 2022年度のテーマ

新型コロナウイルスの感染拡大の影響は、PICC の活動にも、会員企業の本業にも大きな影響を及ぼしております。そのため、2022 年度はもう一度、原点回帰をして、全会員で「いい会社とは何か」「王道経営とは何か」について学び、まず会員企業をいい会社にしていくことで、公益資本主義を自然と広がっていくと考えています。掲げた計画通りに取り組めなかったことが多いため、2021 年度も体制をつくることに取り組んでいく計画です。

2022 年 PICC テーマ

「王道経営を学び、実践する、いい会社を増やす」

いま PICC に求められている役割は、「王道経営」を実践する「いい会社」を世の中に増やし、幸せを広げることにあると定義しました。

2022 年度はまず PICC 会員自身が「王道経営」を学ぶことが中心になります。もちろんその先には、学んだことを自社でしっかり実践して「いい会社」になること、また「いい会社」の仲間を増やしていくことがあります。

2022 年は活動も、想いも、方向性を「王道経営」に集約して取り組んでまいります。

PICC 2021 年度活動報告書

2022 年 3 月 31 日 発行

著 者 一般社団法人公益資本主義推進協議会

発行元 一般社団法人公益資本主義推進協議会 組織運営本部事務局

〒150-0001

東京都渋谷区神宮前 5-52-2 青山オーバルビル 14 階

電話 03-6826-1234

本書の内容の一部または全部を無断複写、複製、転載することを禁じます。